

# 十一月のぬりゑ

及川ふみ

## 紅葉のいろく

はんでん木や、ぶらたな、さくら、いてふ、もみぢなどの色とりどりの紅葉は實に美しいものです。籠をさげて園庭の落葉を拾ひあつめると自由畫の材料にも觀察の材料にもきりがみの材料にもぬりゑの材料にもなります。大きい組の人たちには形をとつてあげなくても各自がその葉の特徴をあらはしておもひ／＼の形を畫いてそれに見たまゝの色をぬる事が出来ますからこの材料は小さい組の材料としておきませう。

圖のうち一番大いのがはんでん木であとはもみぢとさくらであります。色は實物を見てぬるのでありますが、もみぢは眞赤に、さくらはみどりとあかと黄色の染めわけに、はんでん木は黄と橙色の染めわけになれば美しくなります。

## 菊

これから十二月のはじめにかけてよい香りで咲き續けます。菊は花が長くもちますから一鉢保育室へおきますとこれも前の紅葉と同じくいろ／＼の材料となります。花びらの大きいものゝ他は幼児自身で形をとるのは少しむづかしいのですからこの材料は大い組にも小さい組にも使ひます。花の色は黄色で赤でもよいのですが黄色のときは眞中の心と同じになりますから心の黄色の上によく緑をぬるとよいと思ひます。

## 柿

今年柿のなり年と見えて枝についた柿を幼稚園でも度々お母さん方からいたゞいていろ／＼と材料につかひました。橙色一色でぬるのはあまりやさしすぎますから、みぢくた黄色いところや、みどりののこつてゐるのなどまぢるとよいと思ひます。小さい組の材料によいと思ひます。